

上部消化管内視鏡検査を受けられる方へ

あなたの検査予定日は 年 月 日です。

内視鏡検査とは直接消化管の内部を、小さいテレビカメラを組み込んだ電子内視鏡で観察し、病気の診断をする検査です。約10～15分程度で検査は終了しますが、そのための準備、注意について説明します。

(1) のどの麻酔

キシロカインという麻酔薬（ゼリーあるいはスプレー）を使いますが、まれにアレルギーを起こす人がいます。以前に内視鏡や歯の治療で気分が悪くなったことがあればお申し出下さい。

(2) 注 射

検査しやすくするため、胃の働きを止める薬（ブスコパン）を注射します。まれに緑内障（白内障は大丈夫です）、前立腺肥大、不整脈の症状が悪化することがあり、このような病気のある方は他の薬を使いますのでお申し出下さい。

また、軽い静脈麻酔（眠り薬）を使って検査することもあります。この場合はあらかじめ点滴をしてから行います。検査後、麻酔が残る（ボーッとした感じ）ことがあり、車の運転はできませんので、車で来院しないで下さい。

(3) 生 検

検査中に病変が見つかった場合、病変の一部を採って顕微鏡で詳しい検査をすることがあり、これを生検といいます。生検の傷はすぐに治りますが、1～2日はアルコール、刺激物はさけて下さい。

(4) 検査後の注意

のどの麻酔がとれるまで（通常1時間）飲水、食事は待って下さい。

検査中に胃の中に空気を入れて胃を膨らませるため、検査後におなかが張った感じがすることがありますが、排ガス（ゲップ）が出ると楽になります。

(5) 合 併 症

非常にまれですが、検査前の麻酔薬や注射に対するアレルギー、生検による出血、内視鏡による粘膜裂傷などの合併症が報告されています。そのようなことの無いように、細心の注意を払い検査は行われます。

その他 わからないことや、不安なことがありましたら医師、看護師に遠慮無く相談して下さい。検査後ひどい痛みや黒い便が出たときは、信州医療センター内科外来に来院するか連絡を下さい。

＜医師記入欄＞ 注射 ブスコパン、グルカゴン、なし 抗凝固剤使用（有 無）

平成 年 月 日

医師氏名

印

同 意 書

左記の説明を受け、検査を受けることを了承します。

平成 年 月 日

患 者（親権者）氏 名

印

説明を受けた親族の氏名

印

県立信州医療センター
TEL 245-1650